

服用に際しては、この説明書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

神経性胃炎・慢性胃炎に

太田漢方胃腸薬Ⅱ

第2類医薬品

あんちゆうさん かぶくりょう
—安中散加茯苓製剤—

特 徴

太田漢方胃腸薬Ⅱは、ストレスなどの原因により自律神経が乱れることによって起こる、神経性胃炎や慢性胃炎を改善する胃腸薬で、ストレスの多い現代社会に適しております。漢方処方の中散にブクリョウ(茯苓)*を加えることによって、効きめを強化しました。また、胃腸虚弱にもすぐれた効果をあらわします。溶けやすくのみやすい散剤です。

*ブクリョウ(茯苓):サルノコシカケ科に属し、主として松の根に発生する菌体です。

! 使用上の注意



相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
(1) 医師の治療を受けている人。
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
(3) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ

- 1ヵ月位服用しても症状がよくなりえない場合は服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

効能・効果

体力中等度以下で、腹部は力がなくて、神経過敏で胃痛又は腹痛があって、ときに胸やけや、げっぷ、胃もたれ、食欲不振、はきけ、嘔吐などを伴うものの次の諸症：

神経性胃炎、慢性胃炎、胃腸虚弱

神経性胃炎とは・・・

飲みすぎや食べすぎでもないのに胃の調子がおかしいという時は、ストレスによる場合が多いようです。ストレスが自律神経の失調をおこし、胃の働きが異常となり、胃痛、食欲不振、はきけなどの症状としてあらわれます。これを神経性胃炎といいます。

用法・用量

次の量を食間(就寝前を含む)又は空腹時に服用してください。

年齢	1回量	1日服用回数
成人(15歳以上)	1包	3回
7~14歳	2/3包	
7歳未満	服用しないこと	

※ 食間とは食後2~3時間のことをいいます。

<用法・用量に関連する注意>

小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

成分 3包(1.0g×3)中

安中散加茯苓末……………2,100mg

安中散料加茯苓エキス………270mg

〔下記生薬の混合末〕

ブクリョウ(茯苓)……………500mg
ケイヒ(桂皮)……………300mg
エンゴサク(延胡索)……………300mg
ボレイ(牡蛎)……………300mg
ウイキョウ(茴香)……………200mg
シュクシャ(縮砂)……………200mg
カンゾウ(甘草)……………200mg
リョウキョウ(良姜)……………100mg

〔下記生薬のエキス〕

ブクリョウ(茯苓)……………810mg
ケイヒ(桂皮)……………486mg
エンゴサク(延胡索)……………486mg
ボレイ(牡蛎)……………486mg
ウイキョウ(茴香)……………324mg
シュクシャ(縮砂)……………324mg
カンゾウ(甘草)……………324mg
リョウキョウ(良姜)……………162mg

〔添加物〕ヒドロキシプロピルセルロース、ヒドロタルサイト、メタケイ酸アルミン酸Mg、セルロース

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。
(誤用の原因になったり品質が変わることがあります。)
- (4) 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

日常生活でのご注意

上手に気分転換をして、
ストレスの解消を
心がけましょう。

暴飲・暴食をさけ、
嗜好品のとり過ぎに
注意しましょう。

十分な休養をとり、
規則的な生活を
心がけましょう。

包装 (散剤) 14包・34包

- ・ 太田漢方胃腸薬Ⅱは散剤の他に、小粒でのみやすい錠剤タイプの太田漢方胃腸薬Ⅱ(錠剤)もあります。
- ・ この他、下記の姉妹品があります。目的に合わせてご利用ください。
飲みすぎ・胸やけ・胃の不快感に太田胃散(缶)、携帯に便利な太田胃散(分包)
胃のもたれ・食べすぎに小粒でのみやすい太田胃散A(錠剤)

製品のお問い合わせ先

株式会社 太田胃散「お客様相談室」
☎ (03) 3944-1311 (代表)
受付時間 9:30~17:00 (土、日、祝日を除く)



製造販売元

株式会社 太田胃散
東京都文京区千石2-3-2
<http://www.ohta-isan.co.jp/>